

平成22年2月期 第1四半期決算短信

平成21年7月6日

上場取引所 東

上場会社名 カッパ・クリエイティブ株式会社

コード番号 7421 URL <http://www.kappa-create.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 徳山 桂一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長

(氏名) 中井 鉄太郎

TEL 048-650-5100

四半期報告書提出予定日 平成21年7月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第1四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第1四半期	22,944	—	2,055	—	2,042	—	1,013	—
21年2月期第1四半期	18,765	12.5	1,574	46.3	1,628	53.2	785	29.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第1四半期	54.79	54.79
21年2月期第1四半期	33.73	31.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第1四半期	56,242	20,600	36.3	1,105.15
21年2月期	62,245	20,231	32.3	1,085.34

(参考) 自己資本 22年2月期第1四半期 20,443百万円 21年2月期 20,076百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	—	—	35.00	35.00
22年2月期	—	—	—	—	—
22年2月期 (予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	43,940	—	3,580	—	3,470	—	1,560	—	84.33
連結累計期間	86,000	111.2	5,740	110.6	5,510	104.9	2,500	138.5	135.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ―社 (社名) 除外 ―社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年2月期第1四半期 23,318,650株 21年2月期 23,318,650株

② 期末自己株式数 22年2月期第1四半期 4,820,175株 21年2月期 4,820,175株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年2月期第1四半期 18,498,475株 21年2月期第1四半期 23,201,337株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間においては、全世界的な経済悪化に改善の兆しは見られず、実体経済への影響が顕在化してまいりました。

外食業界におきましても、家計所得の減少や雇用情勢の悪化を背景に、個人消費の低迷は長期化の様相を呈しております。

このような状況下で当社グループは、引き続きお客様に安価でおいしい商品を提供出来る様、経営の効率化に向けて日々改善改革に取り組んでまいりました。

予てから実施してまいりました「ランチ90」は、季節感を持たせた商品キャンペーンとチラシ宣伝、そして店舗改装との相乗効果により、引き続き好調を維持し既存店売上高の拡大に貢献してまいりました。さらに一部店舗において「平日終日90円」を試験展開し、検証を重ねながら導入店舗数の拡大を目指す事となりました。

商品、仕入れにつきましては、原油価格の高騰などによる漁獲量の減少や世界的な魚介類の需要の拡大による仕入競争の激化に対応出来る様、新たな商品買付ルートの開拓やお客様の視線に立った主力商品の開発を重ねてまいりました。

また投資回収のシミュレーションの精度向上により新規出店店舗につきましては、好調な売上を維持しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は229億44百万円、営業利益は20億55百万円、経常利益は20億42百万円、四半期純利益は10億13百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結累計期間末における総資産は、562億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ60億3百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が49億41百万円減少、有価証券が20億円減少、有形固定資産が7億6百万円増加したことによるものであります。

負債の部は、356億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ63億72百万円減少いたしました。これは主に、1年内償還予定の社債が100億円減少、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が22億67百万円増加、買掛金が7億7百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は、206億円となり、前連結会計年度末に比べ3億69百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が3億66百万円増加したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローが32億53百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが10億9百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが82億20百万円の支出した結果、前連結会計年度末より59億76百万円減少し、43億48百万円（前連結会計年度末は103億25百万円）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、32億53百万円（前年同期は得られた資金33億99百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益18億58百万円、減価償却費6億21百万円、仕入債務の増加7億7百万円等による増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10億9百万円（前年同期は使用した資金64億38百万円）となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入100億4百万円、定期預金の預入による支出70億39百万円、有価証券の取得による支出20億円、有形固定資産の取得による支出15億38百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は82億20百万円（前年同期は得られた資金1億67百万円）となりました。これは主に、長期借入れによる収入40億87百万円、社債の償還による支出100億円、長期借入金の返済による支出18億19百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績につきましては、概ね予想通りに推移しており、現時点におきましては、平成21年4月6日の決算発表時の業績予想からの変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては原則的な方法によっておりますが、繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末に使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

・引当金計上基準等について、一部簡便的な手続きを用いております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,388,558	16,330,434
売掛金	364,635	262,312
有価証券	2,000,000	4,000,000
商品及び製品	392,237	558,728
原材料及び貯蔵品	140,135	144,908
繰延税金資産	397,757	312,037
未収入金	155,619	270,971
その他	1,466,883	1,179,423
貸倒引当金	△8,997	△20,350
流動資産合計	16,296,828	23,038,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,535,014	32,096,327
機械装置及び運搬具	614,953	607,677
工具、器具及び備品	4,790,986	4,682,552
土地	3,559,052	3,519,052
建設仮勘定	465,622	809,101
減価償却累計額	△16,667,816	△16,122,986
有形固定資産合計	26,297,813	25,591,724
無形固定資産		
のれん	1,863	1,972
その他	216,834	215,814
無形固定資産合計	218,697	217,786
投資その他の資産		
投資有価証券	11,545	7,196
繰延税金資産	981,045	970,417
敷金及び保証金	10,685,724	10,729,153
その他	1,897,387	1,827,918
貸倒引当金	△147,009	△137,160
投資その他の資産合計	13,428,692	13,397,524
固定資産合計	39,945,203	39,207,036
資産合計	56,242,031	62,245,502

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,840,157	3,133,034
短期借入金	910,000	950,000
1年内償還予定の社債	—	10,000,000
1年内返済予定の長期借入金	6,921,180	6,407,920
未払金	1,580,669	1,353,317
未払費用	1,979,441	1,543,257
未払法人税等	974,099	1,663,518
未払消費税等	406,212	310,232
賞与引当金	644,850	278,502
株主優待引当金	63,910	64,000
その他	1,224,567	960,114
流動負債合計	18,545,089	26,663,897
固定負債		
長期借入金	16,282,100	14,527,435
預り保証金	52,120	51,920
退職給付引当金	591,179	578,287
その他	171,079	192,794
固定負債合計	17,096,479	15,350,436
負債合計	35,641,568	42,014,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,551,570	9,551,570
資本剰余金	8,566,392	8,566,392
利益剰余金	11,378,292	11,012,215
自己株式	△9,053,385	△9,053,385
株主資本合計	20,442,870	20,076,793
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	671	347
評価・換算差額等合計	671	347
新株予約権	46,179	33,757
少数株主持分	110,741	120,270
純資産合計	20,600,463	20,231,167
負債純資産合計	56,242,031	62,245,502

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)
売上高	22,944,055
売上原価	8,657,358
売上総利益	14,286,696
販売費及び一般管理費	12,231,523
営業利益	2,055,173
営業外収益	
受取利息	51,187
受取家賃	43,678
雑収入	41,040
営業外収益	135,907
営業外費用	
支払利息	90,273
賃貸収入原価	37,755
雑損失	20,175
営業外費用合計	148,205
経常利益	2,042,875
特別利益	
貸倒引当金戻入額	11,384
特別利益合計	11,384
特別損失	
固定資産除却損	20,159
店舗閉鎖損失	175,640
特別損失合計	195,800
税金等調整前四半期純利益	1,858,459
法人税、住民税及び事業税	950,931
法人税等調整額	△96,567
法人税等合計	854,364
少数株主利益	△9,529
四半期純利益	1,013,624

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

当第1 四半期連結累計期間
(自 平成21年3月1日
至 平成21年5月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,858,459
減価償却費	621,476
のれん償却額	109
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12,892
株式報酬費用	12,422
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,503
賞与引当金の増減額 (△は減少)	366,348
受取利息及び受取配当金	△51,187
支払利息	90,273
固定資産除却損	20,159
店舗閉鎖損失	175,640
売上債権の増減額 (△は増加)	△102,323
たな卸資産の増減額 (△は増加)	171,264
仕入債務の増減額 (△は減少)	707,122
未払消費税等の増減額 (△は減少)	95,980
その他	961,628
小計	4,938,766
利息及び配当金の受取額	38,109
利息の支払額	△98,315
リース料支払額	△30,664
法人税等の支払額	△1,594,685
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,253,211
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△7,039,407
定期預金の払戻による収入	10,004,300
有価証券の取得による支出	△2,000,000
有形固定資産の取得による支出	△1,538,547
固定資産の除却による支出	△18,799
無形固定資産の取得による支出	△8,290
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△125,521
敷金及び保証金の差入による支出	△356,140
敷金及び保証金の回収による収入	122,904
長期前払費用の取得による支出	△95,991
その他	45,737
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,009,757
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△40,000
長期借入れによる収入	4,087,000
長期借入金の返済による支出	△1,819,075
社債の償還による支出	△10,000,000
配当金の支払額	△448,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,220,437
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,976,983
現金及び現金同等物の期首残高	10,325,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,348,350

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成20年3月1日～5月31日)

科目	前年同四半期 (平成21年2月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	18,765
II 売上原価	7,062
売上総利益	11,703
III 販売費及び一般管理費	10,129
営業利益	1,574
IV 営業外収益	139
V 営業外費用	85
経常利益	1,628
VI 特別利益	1
VII 特別損失	172
税金等調整前四半期純利益	1,457
税金費用	671
四半期純利益	785

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(平成20年3月1日～5月31日)

	前年同四半期 (平成21年2月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,457
減価償却費	492
固定資産除却損	9
減損損失	163
たな卸資産の減少・増加(△)額	△13
仕入債務の増加・減少(△)額	317
その他	1,608
小計	4,033
法人税等の支払額	△546
その他	△87
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,399
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期性預金の預入による支出	△1,001
有価証券の取得による支出	△3,003
有形固定資産の取得による支出	△2,029
敷金及び差入保証金の預託による支出	△429
敷金及び差入保証金の回収による収入	34
長期前払費用の支出	△127
その他	117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,438
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	1,500
長期借入金の返済による支出	△985
配当金の支払額	△346
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	167
IV 現金及び現金同等物の減少額	△2,871
V 現金及び現金同等物の期首残高	9,784
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	6,912